

## 来年の議案にそのまま使える背景・目的

### 背景 働く幸せを経営の中心へ据え地域へ波及!

多くの地域企業では、人財難が事業の継続や成長に影響を及ぼしています。その一因として、求人条件の改善だけでは、働く人のやりがいや信頼関係、企業への愛着を育むことが難しく、人財から選ばれ続ける組織づくりが進んでいないことが挙げられます。そのため、働く人が仕事にやりがいを感じ、組織との信頼関係や愛着を育みながら働ける状態をつくる必要があります。

### 目的 SWGs推進に向けたアクション!

働く人の幸せや価値観を大切にすることを増やすことで、人財が集まり、定着し、成長する地域企業を増やすことを目的とします。

※SWGsとは、人・社会・地球の調和を大切に、持続可能な幸せを広げるために、身近な行動から社会をより良くしていく考え方です。

### 運動手法

#### ①人財難について企業の採用条件以外の課題として整理する!

青年会議所が、地域企業の人財難を採用活動だけの問題として捉えるのではなく、働く人のやりがい、信頼関係、会社への愛着に関わる課題として整理します。企業が次に見直すべき状態を明確にします。

#### ②従業員との対話を始める入口をつくる!

アクションプラン集を活用し、経営者が従業員にどのように声をかけるかを整理します。まず働く人が何に幸せや働きがいを感じているのかを確認する対話から始めます。そのうえで、対話から見えてきた声をもとに、自社で取り入れられる小さな行動を検討します。

#### ③企業の実践を自治体との協議へつなげる!

地域幸福度指標を共通言語として、自地域の強みや課題を読み解きます。企業の実践を、地域の雇用、若者定着、まちの活力につなげるため、自治体との協議へ展開します。

### どんなLOMに向いてる?

人財難を、働く人に選ばれる会社づくりと自治体連携により解決したいLOM

地域企業との接点を活かし、人財難や組織の活力低下を地域の課題として捉えているLOMに向いています。企業の課題を聞き、働く人に選ばれる会社づくりの実践を支え、その変化を幸福度指標などを用いて可視化します。自治体へ共有し、地域全体でウェルビーイング経営実践企業を後押しする運動にできます。

### この運動をするとあなたの地域はどう変わる? 働く人に選ばれる企業を増やすことは、まちの力になる。

働く人に選ばれる企業が増え、人財が集まり、定着する地域になります。企業の前向きな変化が社員や家族へ広がり、自治体が同じ目線で企業を支える仕組みが生まれます。

### Point 運動構築におけるアドバイス

- 企業が働く人に選ばれる会社づくりを始めるための伴走者として関わります。まずは働く人を主語にし、経営者と従業員の関係性に目を向けます。
- 人財難を採用条件だけで捉えず、働く人がやりがい、信頼関係、会社への愛着を持っているかを確認します。そのうえで、明日から始められる小さな実践を決めます。
- ウェルビーイング経営実践3点ツールを活用し、自社に合う組織の状態、働く人との関わり方、実践する行動を整理します。学びを聞いて終わらせず、企業の行動へつなげます。
- 企業の小さな実践を集め、自治体と共有することで、働く人に選ばれる会社を地域で増やす運動へ広がります。

### Information

当委員会では、こんなお手伝いができます!

- ・推進運動で作成する、ウェルビーイング経営を手法とした導入マニュアルをお渡しします。
- ・SWGsについて詳しく知りたい、例会でセミナーをしたいなどあれば最適な講師を紹介します。

公益社団法人日本青年会議所  
地域G経営デザイン委員会  
担当: 小松 遼太  
TEL: 090-6057-2885  
Mail: komatsu0325@gmail.com

### gian pocket

誰でも地域にあった運動の構築ができる!  
推進議案のチェックはこちらから!

gian pocket  
JCI Japan Chapter  
International Japan

